

造船統計速報（令和7年10月分）

本速報は、造船の生産等実績の早期把握に資するため、基幹統計調査「造船造機統計調査」の造船調査対象工場のうち主要工場の主要項目の生産等実績について先にとりまとめ速報化したものである。確報値は追って公表される「造船統計月報」を参照されたい。

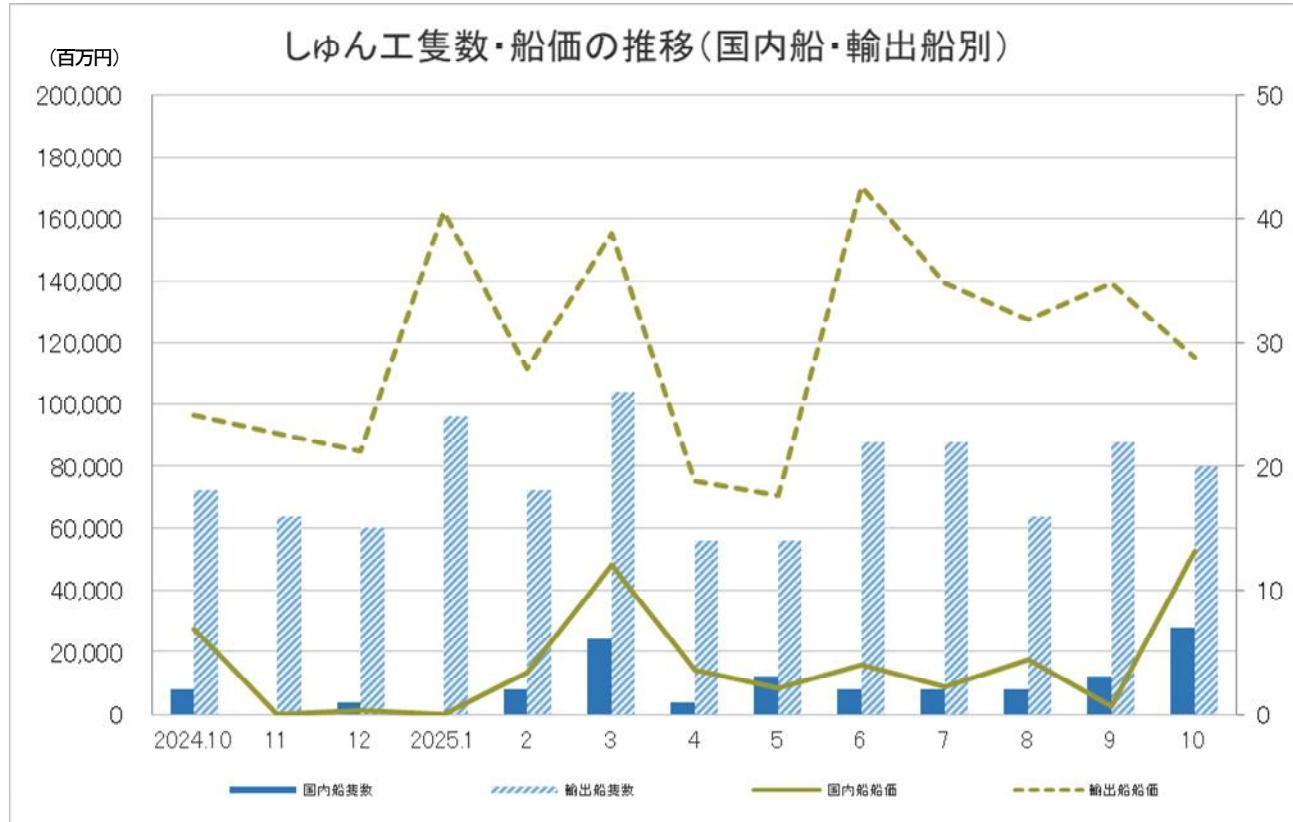
1. 概況

令和7年10月分の造船主要43工場の鋼船受注・建造実績は、受注24隻、96万9千GT、起工24隻、101万2千GT、しゅん工27隻、95万6千GT、しゅん工船価1680億円（前年同月比28.8%増）であった。

このうち、国内船のしゅん工実績は、合計7隻、25万9千GTであった。内訳は、貨物船が4隻（ばら積み船1隻、コンテナ船1隻、自動車専用船1隻、鉱石兼ばら積み船1隻）、油送船が1隻（一般油送船1隻）、その他船舶2隻であった。

また、輸出船のしゅん工実績は、合計20隻、69万7千GTであった。内訳は、貨物船が15隻（一般貨物船1隻、ばら積み船10隻、鉱石兼ばら積み船4隻）、油送船が5隻（LPG船1隻、化学薬品船4隻）であった。

鋼船修繕実績は、合計65隻、工事金額25億円であった。



注1 近年の造船業の統廃合等による情勢の変化を踏まえ、実態に即した的確な速報値の公表を確保する観点から、平成30年1月分の速報から集計対象事業所を見直した。なお、集計対象事業所は、過去3年分（平成26年～平成28年）のしゅん工船価の確報値を平均化し、確報値全体の約85%を占めるよう、上位から43工場を選定した。

注2 本速報における国内船及び輸出船は船舶の発注者の国籍により区分される。

注3 平成26年1月分調査より「受注」を調査事項として追加し、その結果を公表している。

2. 鋼船建造実績

(単位:隻, G/T, 千円)

用途別	受注		起工		しゅん工			
	隻数	G/T	隻数	G/T	隻数	G/T	船価	前年同月比
合計	24	968,500	24	1,012,031	27	955,854	168,021,647	128.8
国内船	小計	0	0	3	37,098	7	258,510	52,860,975
	貨物船	0	0	0	0	4	250,268	39,627,247
	貨客船	0	0	0	0	0	0	—
	客船	0	0	0	0	0	0	—
	自動車航送船	0	0	0	0	0	0	—
	油送船	0	0	2	30,998	1	4,443	..
	漁船	0	0	0	0	0	0	—
	その他	0	0	1	6,100	2	3,799	..
輸出船	小計	24	968,500	21	974,933	20	697,344	115,160,672
	貨物船	18	746,200	18	875,733	15	600,105	81,768,323
	油送船	6	222,300	3	99,200	5	97,239	33,392,349
	その他	0	0	0	0	0	0	—

※ 「..」内は秘密保護上公表しないものを表す。

3. 鋼船修繕実績

	隻数	工事金額(千円)
合計	58 (7)	2,180,996 (307,518)
国内船	57 (7)	2,156,996 (307,518)
外国船	1 (0)	24,000 (0)

※ ()内は、排水トン表示による船舶で、外数である。

お問い合わせ先：
国土交通省総合政策局情報政策課交通経済統計調査室
電話：03-5253-8111（内線：28-746）
03-5253-8348（直通）
担当：松浦、根岸